



# 令和元年度決算の概要



名古屋高速道路公社



## 目 次

◆ 令和元年度決算のポイント .....	1
◆ 令和元年度損益計算書の概要 .....	2
◆ 令和元年度貸借対照表の概要 .....	3
<参考資料>	
◆ 会計処理の特徴 .....	4

## ◆令和元年度決算のポイント



■令和元年度決算のポイントは、以下のとおりです。詳細は、次ページ以降をご覧ください。

- ① 道路料金収入は、交通量の減少により、前年度から4億円減少し、770億円となりました。
- ② 道路管理費は、前年度から17億円増加し、380億円を充てました。  
大規模修繕、ETC関連機器の更新などを実施しました。
- ③ 償還準備金繰入(借入金の返済に充てた額)は、前年度から15億円減少し、304億円を繰り入れました。  
償還準備金(償還準備金繰入の累計額)は、前年度から304億円増加し、7,157億円となりました。

# ◆ 令和元年度損益計算書の概要



(単位: 百万円)

勘定科目	費用の部				勘定科目	収益の部			
	元年度	30年度	前年度比			元年度	30年度	前年度比	
	A	B	A-B	A/B(%)		A	B	A-B	A/B(%)
事業資産管理費	38,989	37,311	1,678	104.5	業務収入	77,665	78,102	△ 436	99.4
道路管理費	37,986	36,271	1,715	104.7	道路料金収入	77,002	77,389	△ 387	99.5
(内消費税納付金)	(3,583)	(3,237)	(346)		マイレージ還元負担金収入	587	609	△ 22	96.4
貸倒引当金繰入	+0	+0	△0	79.8	マイレージ引当金戻入益	6	4	2	139.0
マイレージ還元負担金	1,003	1,039	△ 36	96.5	業務雑収入	70	99	△ 29	70.9
一般管理費	2,004	1,955	48	102.5	業務外収益	102	135	△ 33	75.8
業務外費用	6,404	7,089	△ 686	90.3					
(内借入金利息)	(6,193)	(6,904)	(△ 712)						
小計(管理費用)	47,396	46,355	1,041	102.2					
償還準備金繰入	30,371	31,881	△ 1,510	95.3					
合計	77,767	78,237	△ 469	99.4	合計	77,767	78,237	△ 469	99.4

(注) 端数処理の関係上、計及び比率(A/B)において合わないことがあります。

- 収益の状況…○ 収益の総額は778億円で、そのほとんどがお客様からの道路料金収入となっています。
  - お客様からの道路料金収入は、前年度から4億円の減少となりましたが、これは交通量の減少によるものです。
  
- 費用の状況…○ 費用の総額は、778億円であり、主なものは、道路の維持補修や料金収受などに要した道路管理費380億円(消費税納付金含む。)、業務外費用(借入金利息など)64億円及び借入金の元金返済に充てた償還準備金繰入304億円となっています。
  - 道路管理費は、前年度から17億円の増加となりましたが、これは修繕費の増加によるものです。
  - 償還準備金繰入は、収益・費用の状況により、前年度から15億円の減少となりました。



# ◆ 令和元年度貸借対照表の概要



(単位:百万円)

資 産 の 部					負 債 及 び 資 本 の 部				
勘定科目	元年度	30年度	前年度比		勘定科目	元年度	30年度	前年度比	
	A	B	A-B	A/B(%)		A	B	A-B	A/B(%)
流動資産	9,893	18,118	△ 8,225	54.6	流動負債	81,346	99,330	△ 17,984	81.9
現金・預金など	2,640	9,512	△ 6,872	27.8	1年以内返済予定長期借入金※	67,773	78,298	△ 10,525	86.6
未収金	7,254	8,607	△ 1,353	84.3	未払金など	13,573	21,032	△ 7,459	64.5
貸倒引当金	△0	△0	+0	79.8	固定負債	572,970	593,399	△ 20,429	96.6
固定資産	1,677,113	1,676,859	254	100.0	名古屋高速道路債券※	416,500	401,000	15,500	103.9
道路	1,674,293	1,674,293	0	100.0	政府借入金※	72,360	87,974	△ 15,615	82.3
道路建設仮勘定	2,277	1,792	486	127.1	県・市借入金※	63,946	77,362	△ 13,416	82.7
有形固定資産など	543	775	△ 232	70.1	長期借入金など※	11,974	18,916	△ 6,942	63.3
繰延資産	1,003	999	4	100.4	退職給与引当金	921	872	50	105.7
					ETCマイレージ引当金	247	253	△ 6	97.7
					資産見返交付金	7,022	7,022	0	100.0
					特別法上の引当金等	715,656	685,285	30,371	104.4
					償還準備金	715,656	685,285	30,371	104.4
					基本金(県・市出資金)	318,038	317,963	75	100.0
資産合計	1,688,009	1,695,977	△ 7,967	99.5	負債・資本合計	1,688,009	1,695,977	△ 7,967	99.5

(注)端数処理の関係上、計及び比率(A/B)において合わないことがあります。

- 資産の状況…○資産の総額は1兆6,880億円となっています。このうち道路資産は1兆6,743億円であり、資産全体の99%を占めています。
- 負債及び資本の状況…○負債及び資本の総額は1兆6,880億円であり、主なものは、道路債券を含む借入金6,326億円※、元金返済に充てた償還準備金7,157億円、設立団体の愛知県・名古屋市からの出資金3,180億円となっています。○建設に要した借入金につきましては、全額、お客様からの料金収入で返済していくものです。



## ◆ 会計処理の特徴



- 当会社では、企業会計原則に準じた会計処理を行っていることにより、財政状態や経営成績が明らかになっております。
- 有料道路事業は、出資金・借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により返済していくものであり、全ての返済を終えると、本来の道路管理者に引き渡すことになっていることから、借入金が着実に返済されているかどうかを会計処理において適切に把握することが重要です。
- 「道路資産」においては、企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上しておりません。
- 借入金の返済に充てた年度の「収支差」(収益と費用の差)を「償還準備金繰入」として費用に計上し、その累計額を「償還準備金」として貸借対照表の負債の部に計上しています。
- 「道路資産」の額と「償還準備金」の額の対比により、道路に投下した資金の償還状況がわかるしくみになっています。